

○困りごと

- ・温度を一定に保つ必要がある宅配物（例えばクール宅急便）が、届いたときには腐っていた（どこかで温度が一定に保てなかった瞬間がある）
- ・どこで温度が狂ったかがすぐにわからず、調査が必要である。担当者への聞き取りや他の宅配物の状況を調べなくてははいけない

○従来の方法

- ・場所（たとえば中継地の冷蔵庫や、トラックの中）に基づき、その環境を管理する
 - ・・・環境を変えるとき（場所から場所へ持ち運ぶ時）に温度変化が起きる可能性がある

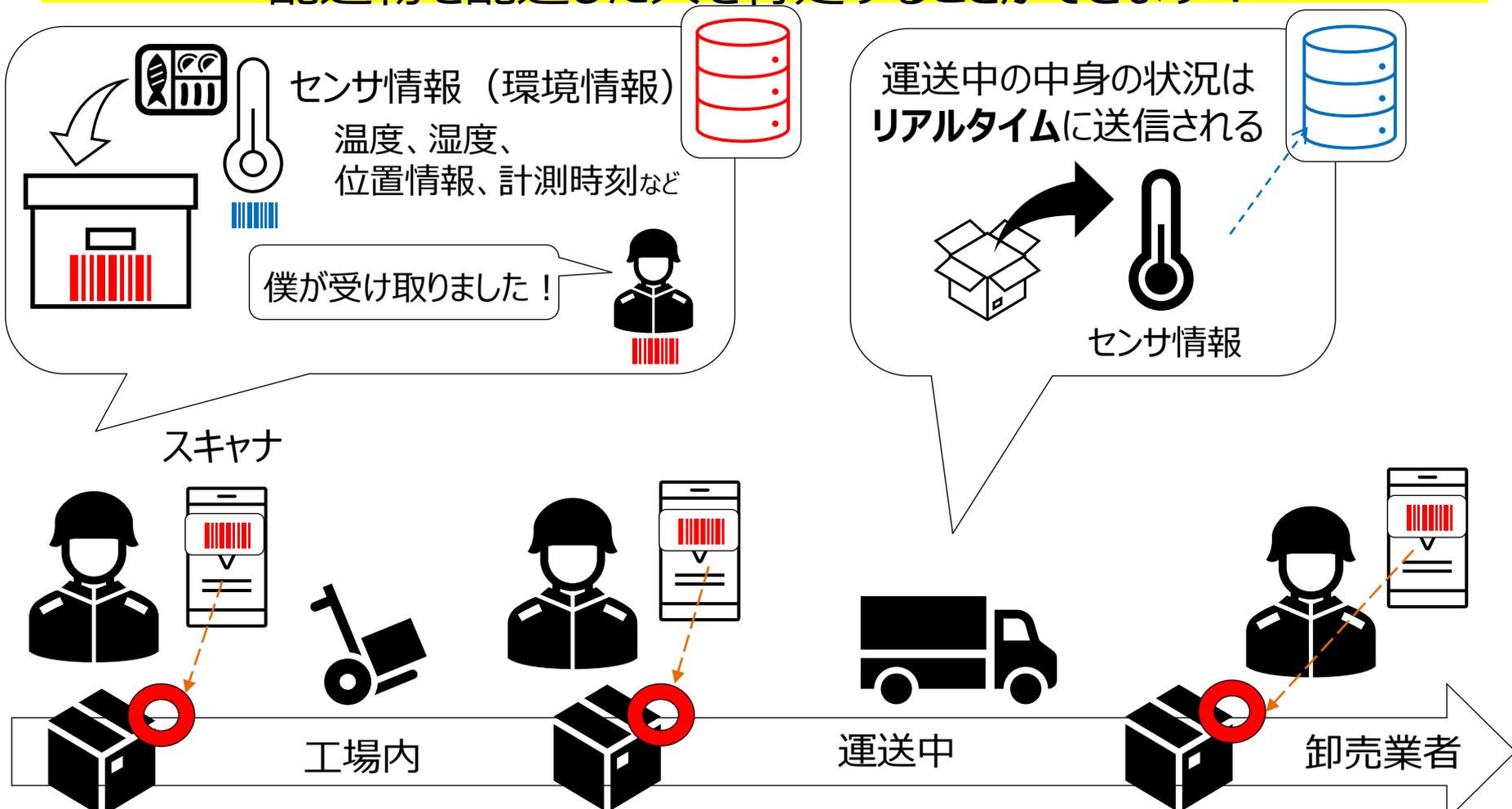
○この発明のメリット

- ・場所、担当者、温度を紐づけて管理できるので、トレース調査が簡単
- ・責任がわかりやすいので、インシデント防止にも役立つ

6. 配送物の環境情報の管理主体把握システム

JP6885040

配送物のステータスとセンサ情報を紐づけて管理し、
配送物を配送した人を特定することができます！



スキャナ情報から配送物のステータスを把握できる！

○展開先候補

- ✓ 配送業……………クール宅配便、置き配
- ✓ 宅配……………あたたかいままの食事を配達
- ✓ 医療……………要冷蔵の医薬品の管理